

地区名 男鹿市・潟上市・南秋田郡

所在地 男鹿市北浦西黒沢

バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ × 水のはたらき

露頭までの道のり

西黒沢の漁港から西へ約1kmの海岸である。それほど大きな駐車場はないので、事前調査でよく確認しておくことが大切。

安全上の留意点

海岸が観察場所なので、地震の際の津波に注意。また、潮の満ち引きで波打ち際が変わるので、観察時間の潮位も調べておくとよい。砂岩であるが、岩石自体は硬く、波打ち際なので足下が滑ることがある。服装に気をつけ、教師の指示が通る範囲で児童を活動させることが肝要。

観察のポイント

- ①ほぼ水平に地層が堆積し、砂の層が多く見られること。
- ②角のとれた丸い礫や化石が見られること。

地質年代

新第三紀中新世中期(約1500万年前)

解説

西黒沢層と呼ばれる礫岩や砂岩・泥岩からなる地層である。貝やウニなどの化石を含むことがある。また、角のとれた丸い礫が固まった礫岩や、砂岩・泥岩などが見られ、水のはたらきでできた土地であることを判断できる。

下記の写真にオパキュリナと呼ばれる大型有孔虫の化石があるが、この生き物は暖かい浅い海(赤道など)に生息していたものである。つまり、男鹿半島の環境は1500万年前には暖流が流れ込む温暖な場所だったことを示している。

露頭概観

指導形式

A,B,C



丸くて白っぽいオパキュリナと呼ばれる大型有孔虫の化石(写真のペン先、円形のもの)が見られる。大型と言っても直径5mm程度である。



砂の粒がぎっしりとつまった砂岩が見られる。注意深くルーペで観察すると化石が見つかることもある。岩で手を切らないように注意。



観察はこの写真のように行う。岩石に近づき、どんな粒でできているのか、また含まれているものはなど学べることはたくさんある。